

目 次

I. 総合研究報告書

- 広域・複雑化する食中毒に対応する調査手法の開発に関する研究…………… 1
砂川 富正

II. 分担研究報告書

1. 腸管出血性大腸菌感染症国内感染例散発例の調査方法の検討に関する研究…………… 21
八幡 裕一郎
2. 細菌性赤痢・腸チフス・A型肝炎の国内感染例散発例の調査方法の
検討に関する研究…………… 38
八幡 裕一郎
3. 腸管出血性大腸菌O157感染症の散発事例における症例対照研究の実施可能性の検討、
リスクの推定及び人口寄与危険率の算出試みの検討…………… 55
八幡 裕一郎
4. 広域事例（旅行歴）に関する腸管出血性大腸菌アウトブレイクの検出及び
原因検索方法の確立に関する研究…………… 96
八幡 裕一郎
5. 詳報、事件票を活用した食中毒発生要因分析と食中毒調査手法の課題抽出…………… 100
八幡 裕一郎
6. NESID登録の食品媒介感染症の把握と解析に関する研究および腸管出血性
大腸菌感染症で溶血性尿毒症症候群を発症した患者を対象とする追跡研究…………… 112
齊藤 剛仁
7. 広域食中毒疫学調査ガイドライン改訂の検討に関する研究…………… 127
高橋 琢理
8. 食品媒介感染症被害実態の推定…………… 134
窪田 邦宏
9. 自治体における腸管出血性大腸菌感染症散発事例のリスク推定の試行…………… 167
砂川 富正
10. 川崎市における下痢原性大腸菌の分子疫学解析法の検討及び流行状況等に
関する調査…………… 207
岡部 信彦
11. 地域レベルにおける広域食中毒対策方法の導入と改善策の研究…………… 221
猿木 信裕

12. ウイルスを主とした広域事例調査手法の検討	234
野田 衛	
13. クドア食中毒様の症状を示す原因不明食中毒に関する研究	268
大西 貴弘	
14. 広域食中毒事例調査における保健所間の連携に関する研究	277
山口 亮	
15. アニサキス食中毒の原因物質の同定	285
杉山 広	
Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧表	291